

## 第4学年竹組 算数科『広さを調べよう』略案

指導者 土田 亮輔 (TR)・佐々木 智子 (TT)

1. 日時 2月 3日 (木) 3校時 (10:30~11:15)
2. ねらい ○ 面積の公式を使って、色々な問題を解くことができる。(12/12)
3. 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価		センターの先生の支援
10:30	1. 本時の課題について確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                         面積の公式を使って、色々な問題にチャレンジしよう。                     </div>	○ 前時のたしかめ問題で習熟度を把握し、あらかじめ子どものコースを決定しておく。 すぐにプリントに取り組めるように場を準備しておく。		
10:35	2. コース別に問題に取り組む。	○ 基本コース (TT担当) 【5~6人程度】 ・ 公式を使って長方形や正方形の面積を求める問題。 ・ 簡単な複合図形の面積を求める問題。 ・ 子どもの答え合わせのチェックをする。	応用コース (TR担当) 【15人程度】 ・ 色々な複合図形の面積を求める問題。 ・ cm, m, kmが混じった図形の面積を求める問題。 ・ 面積から縦や横の長さを求める問題。 ・ 子どもの答え合わせのチェックをする。	発展コース (PRに待機) 【はじめ4~5人程度】 ・ 高度な複合図形の面積を求める問題 (3カ所以上に分けて考える、重なりのある部分がある等) を用意する。 ・ 解き方の説明を聞き、数学的な考え方を伸ばす。
11:05	3. 算数のお話を聞く (面積の単位 a や h a)	・ センターの先生と子どものやり取りを補助する。 ・ 子どもの様子を観察しながら評価する。		・ これまでに習った面積の単位以外の単位として a や h a に関するお話をする。
11:10	4. 本時の振り返りをする。	・ がんばりが認められる子どもの振り返りを選び、発表の指名をする。		・ 感想や助言を話す。

